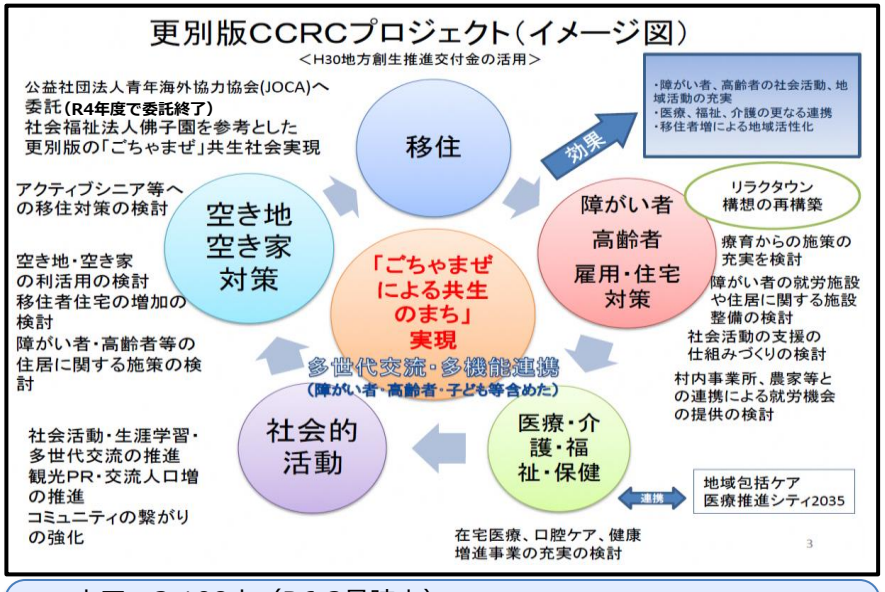
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：北海道 更別村

◆コンセプト：「“ごちゃまぜ”のまちさらべつ」

村民の誰もが安心して健康に住み続けられるむらづくり

さらべつ版「生涯活躍のまち」では、社会福祉法人佛子園、公益社団法人青年海外協力協会（ＪＯＣＡ）の取組を参考に、これまで未着手となっている障がい者施策の再構築のみならず、高齢者、障がい者、子育て世代、移住者を含めた村民誰もが関わり合い、健康でいきいきと輝きつづけるむらづくりを推進するため、既存機能を活用した交流拠点の整備をはじめ、リラクタウン構想用地の利活用、多世代交流を促す仕組みづくりや移住の促進、村内ですでに取り組んでいる多種多様な活動との連携による地域共生社会の実現を目指す。

＜特徴＞ 障がい者、高齢者の就労と住まいの充実を中心に、“ごちゃまぜ”による地域共生社会の実現を目指す



基礎データ

- 人口：3,108人（R6.3月時点）
- H27.10地方版総合戦略を策定
- H30.４地域再生計画（さらべつ版ＣＣＲＣプロジェクト）認定
- H30年地方創生推進交付金（H30第１回）を活用、さらべつ版生涯活躍のまち推進協議会設置し、H31.３さらべつ版生涯活躍のまち基本構想・基本計画を策定
- Ｒ２.３さらべつ版生涯活躍のまち構想実施計画策定
- Ｒ２コーディネーター配置（※Ｒ５.３配置終了）
- Ｒ３.４コミュニティカフェ「ゆーゆ」開業（※Ｒ５.４常設運営）
- Ｒ５.２推進協議会解散、構想の一部を自立支援協議会に移行

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】
- ○既存施設を活用した共生拠点づくり、仕組みづくりへ向け、検討
- ○フォーラムに合わせた“ごちゃまぜ”のイベントを多世代にて実施

【今後の展開】
- ○障がい者・高齢者の就労、社会活動の場所が、障がい者、高齢者を含んだ村民の居場所となるよう、“ごちゃまぜ”の拠点を整備
- ○拠点へ集まる仕掛けづくり準備開始
- ○村内の子供、地元高校生等の関わり強化

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】
- ○雇用の場、活躍の場を地域交流拠点に整備するため、就労カフェ等の整備検討
- ○村内での雇用、活躍の場の拡充

【今後の展開】
- ○相談体制の充実、中心となる運営主体を確保し、拠点での事業展開のほか、村内へ波及する取組へつなげる
- ○更なるニーズの掘り起こし
- ○就労、雇用の場の整備

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】
- ○高齢者の孤立を防止し、介護予防、健康増進を拡充
- ○健康促進プログラムの充実

【今後の展開】
- ○地域包括ケア、診療所、保健、福祉、医療関係機関と連携したプログラムの充実
- ○多世代が参加できるプログラムの検討
- ○ウェルネスの活用、整備

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】
- ○住環境の整備（宅地造成、障がい者ＧＨ等）へ向け、検討
- ○住まいの整備とともに、見守りの体制づくりを検討

【今後の展開】
- ○障がい者、高齢者の就労事業と合わせた、障がい者、高齢者の住居整備
- ○地域包括ケアと連携した見守り体制の確立
- ○宅地造成、移住者向け住宅の整備を行い移住者を呼び込む

コミュニティへの人の流れ

- ○村内で実施されている人を呼び込む施策との連動（人材育成事業、さらべつブランディングプロジェクト、スマート定住化計画策定等）
- ○地域交通による移動支援との連動
- ○特産品開発等の新たな産業創出との連動を検討

その他特徴的な取組

- ○既存施設には、温泉、健康増進室、高齢者デイ、各種検診、サークル活動が展開され、診療所、支援ハウスが隣接している
- ○福祉の里エリアにおける医療、地域包括ケア、保健、福祉による多世代の健康まちづくりに取り組む